



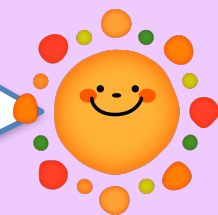
10月はてんかん月間

子どものてんかん

ローランド

てんかん

子どもの代表的なてんかん
です



どんなてんかん？

経過良好な年齢依存性てんかん

(特定の年齢で起こりやすく、
年をとると落ち着く)
のひとつ

★ 小児てんかんの20～25%

★ 発症年齢：2～12歳

(特に4～9歳) に多い

子どものてんかんの4-5人に1人はコレ。多いですね。



特徴的な発作症状

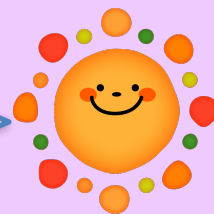
顔の片側半分のピクツキ
(口周囲・頬・眼など)

片側の腕から足に広がる
半身けいれん

(時に全身けいれんに広がる)

多くは数分

吐くような(?) 声や
ゴボゴボと喉を鳴らす感じ
で始まることも



タイミングも特徴的

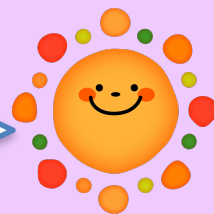
寝てスグが最多

その他、起床直前や昼寝など

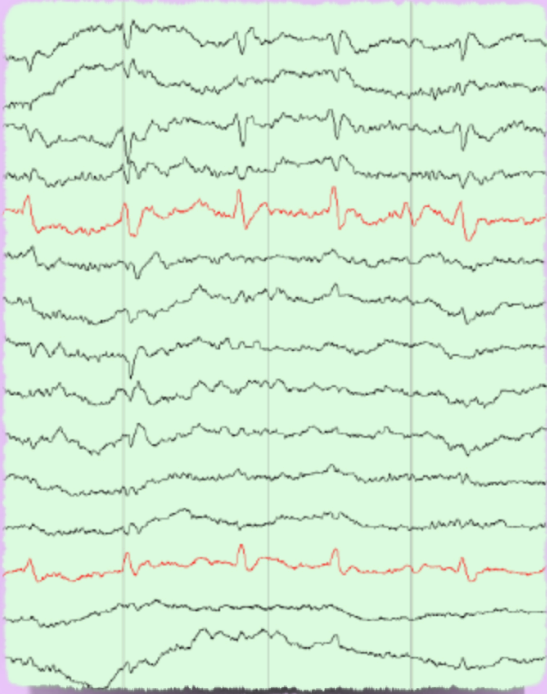
睡眠に関連して起こることが多い

2-3日連続して発作することも

お子さん自身が
発作のことを一部覚えている
こともあります

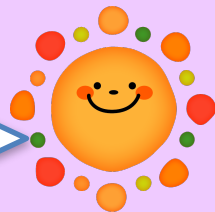


脳波も特徴的



なので、
発作症状と脳波で
診断しやすい
てんかんです

ローランドてんかん。実は名前がいろいろ。昔は脳波の特徴から「中心・側頭部に棘波をもつ良性小児てんかん」。その後、いろいろあって、今は「中心側頭部棘波を示す自然終息性てんかん」。とにかく脳波が特徴的、ということ



治療は？

2回以上発作がある時に
抗てんかん薬内服による治療
を開始します

使用できる抗てんかん薬はいろいろありますが、**一般的に薬がよく効く**ので
発作消失は容易です



治りますか？

治ります

2-3年お薬を続けて、

発作がなければ終了です
脳波の改善には時間がかかります
が、最終的にはしっかり改善するの
が一般的です



まとめ

今回は、子どものてんかんの中でも多い「ローランドてんかん」を取り上げてみました。年齢も発作症状も脳波も特徴的なので、診断・治療しやすいてんかんです。

てんかんと診断されると心配ですね。でも、発作は少なく経過も良好ですので、心配しすぎることはありません。しっかり治療していきましょう。

最後まで見ていただきありがとうございました

